



島根県指定無形民俗文化財

たまわかす みこと じん じゃ ご れ え ふ りゆう

玉若酢命神社御霊会風流

御霊会風流の由来

御霊会風流は、武良祭風流(中村)、水若酢命神社祭礼風流(五箇)と並んで島後の三大祭と言われているが、その由来は古代に遡る。
大化の改新(645)後、国司制度が確立されつつある頃、諸国の国司は赴任すると、国内の神社を社格に従って巡拝し、天下泰平・五穀豊穡を祈願した。又、国内神霊を同一祭場に勧請集合させ、合同の御霊会を催すことが始められたが、この合同の祭礼場が総社(惣社)であり、隠岐国では玉若酢命神社が選ばれた。古くは島前からも含め48地区の神々が参集したという記録があるが、現在では東郷、飯田、大久、加茂西田、有木、原田、西郷、下西(上西)の8地区から、鞍に御幣を付け6人の馬付きを従えた神馬が参集する。
祭礼の公イライトが「馬入れ神事」である。8地区の神馬は鳥居前に待機し、大太鼓の合図とともに参道を拝殿目指し一気に馳入る。こうして神々が集合、総社としての祭礼が始まる。
玉若酢命神社の御霊会は、往時の名残を持つ全国的にも稀な行事で、特に「馬入れ神事」は、馬を使用する民俗行事の中では、その勇壮さにおいて類例が少なく、昭和40年、無形民俗文化財として島根県の指定を受けている。

令和5年

6/5月

ところ 玉若酢命神社

神馬飼育者

東郷馬	吉田和宏
飯田馬	酒田敏幸
大久馬	松林久徳
加茂馬	大田泰三
有木馬	鈴木邦雄
原田馬	要戸由成
西郷馬	米津輝樹
下西馬	松林久徳

島根県指定無形文化財「玉若酢命神社御霊会風流」が、「馬入れ神事」をはじめ例年通り行われます。
(但し、露天商の出店はありません。)
ご参拝及びご観覧の際は、新型コロナウイルス感染症の感染予防にご協力をお願いいたします。

祭礼の日程のめやすと概要

10時

本殿祭

巫女による浦安の舞が奉納されます。

11時

神馬到着

東郷、飯田、大久の神馬は、東郷棧敷及び二宮へ馳入れ、その後各休憩所で休憩します。
加茂(西田)神馬をはじめ、有木、原田、西郷、下西(上西)の各神馬は、逐次潮垢離をした後宮司宅へ馳入れ、その後各休憩所で休憩します。

14時

東郷棧敷儀式

東郷、飯田、大久各神馬の馳入れをお迎えする儀式が行われます。

14時半

各神馬社頭へ馳入れ

祭礼のハイライト「馬入れ神事」で、東郷、飯田、大久、加茂、有木、原田、西郷、下西の順で馳入れます。

15時

神幸祭(御旅)行列

神幸行列の後方を神馬が供奉しますが、神馬の前を横切るとは御法度とされており、ご注意ください。
御旅所へは、社殿馳入れと同様に神馬が馳入れます。

還幸行列

御旅所から社殿への還幸行列で、御旅所下の三叉路で東郷神馬の行列参加を待ちますが、この際、行列の中を通りぬけることも御法度とされており、ご注意ください。
各神馬は鳥居前まで供奉し、下西神馬のみ社頭へ馳入れます。

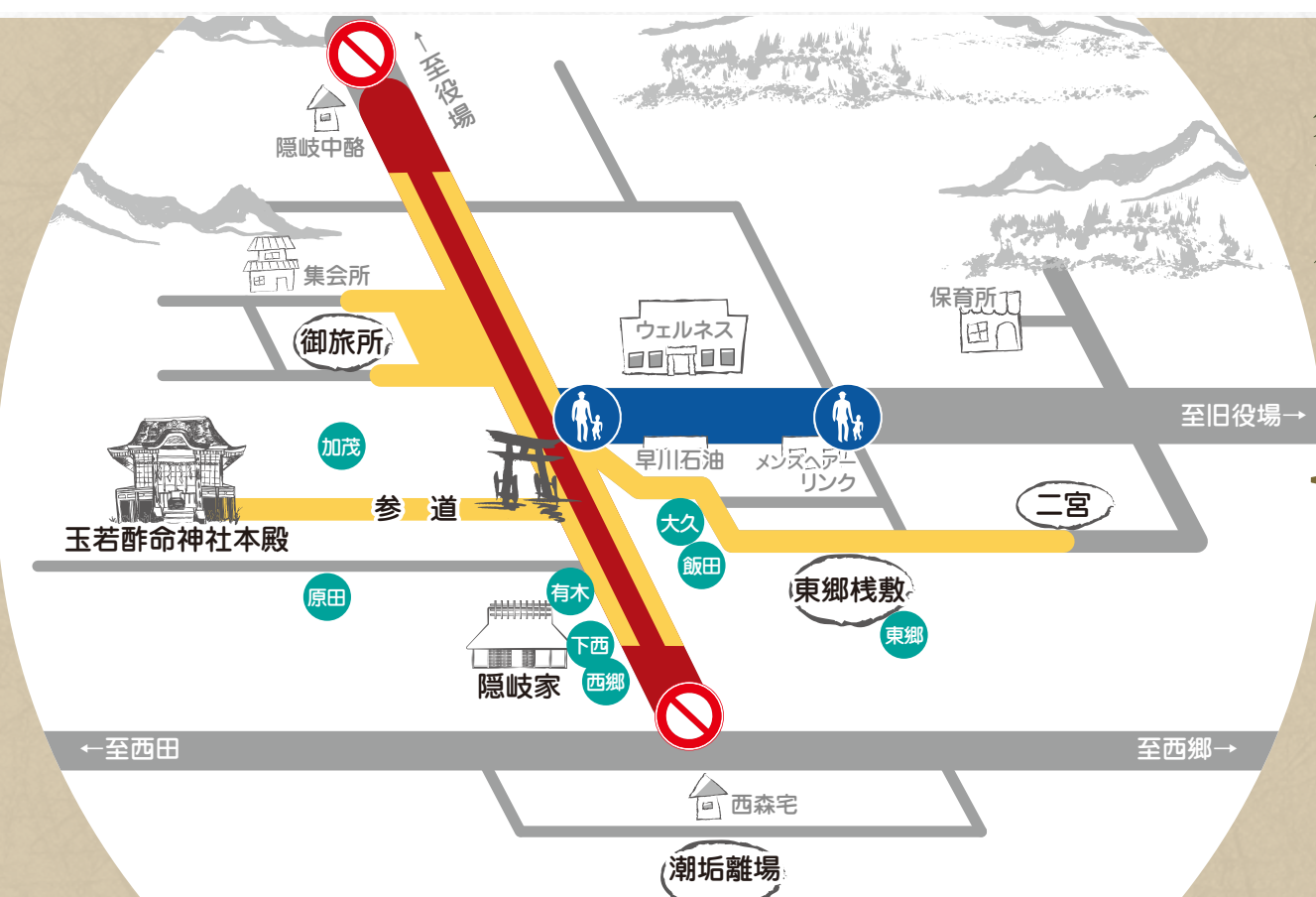
17時

終了

※この日程表は、めやすですので、多少の時間のずれはご了承ください。



祭場周辺見取図及び交通規制図



-  車両通行止 (12:00 ~ 18:00)
-  歩行者専用道路 (12:00 ~ 18:00)
-  神馬走行区間
-  各地区神馬休憩所

注意 危険ですので神馬には絶対に近寄らず、特に走行区間は十分ご注意ください／飲酒運転は絶対にしないで下さい
駐車場は役場旧庁舎を利用し、周辺道路への駐車は絶対にしないで下さい

玉若酢命神社御霊会風流保存会会員

(順不同)
(株)金田建設 / (有)菊栄漁業 / (有)事代丸 / (有)天祐丸 / 徳畑建設(株) / (株)吉崎工務店 / (株)野村水道 / (株)太陽建設コンサルタント
(株)ヤマダヤ / (有)オキカン / 隠岐酒造(株) / (株)前川商会 / (株)隠岐ガス / (有)隠岐石油 / (有)赤沼電工 / (株)池田材木店
(有)西郷日石 / (有)早川石油 / (有)経営パートナー / (株)渡辺工務店 / (有)海幸海運 / 丸大漁業(有) / 祐生水産(有) / 酒井歯科医院
(有)あずま家具住建センター / (有)笠岡商店 / 隠岐汽船(株) / (株)日本海技術コンサルタンツ / (有)旅館民宿作田屋 / 高梨医院
半田内科クリニック / サンテラス(株) / (有)末広 / 勝部表装(有) / (株)タキモト建設 / (有)おき精肉店 / (株)竹田組 / (株)平成建設